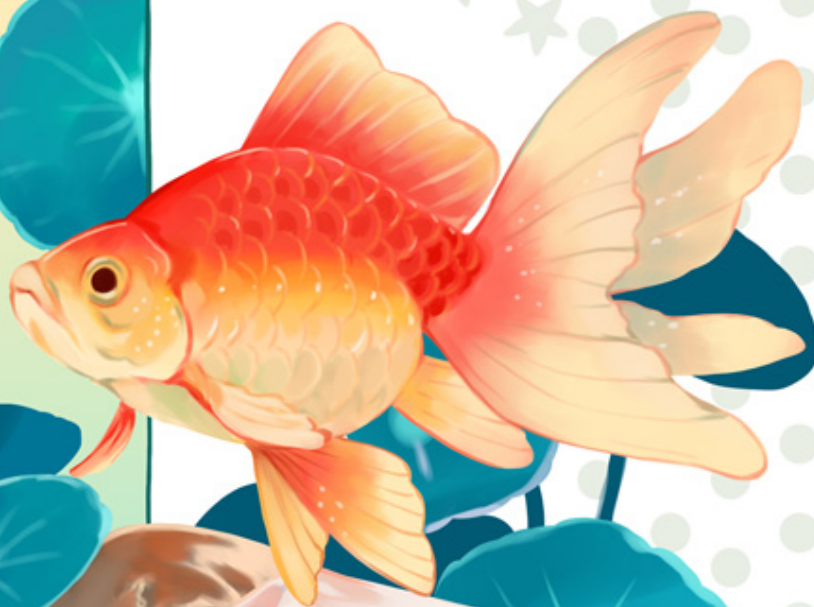
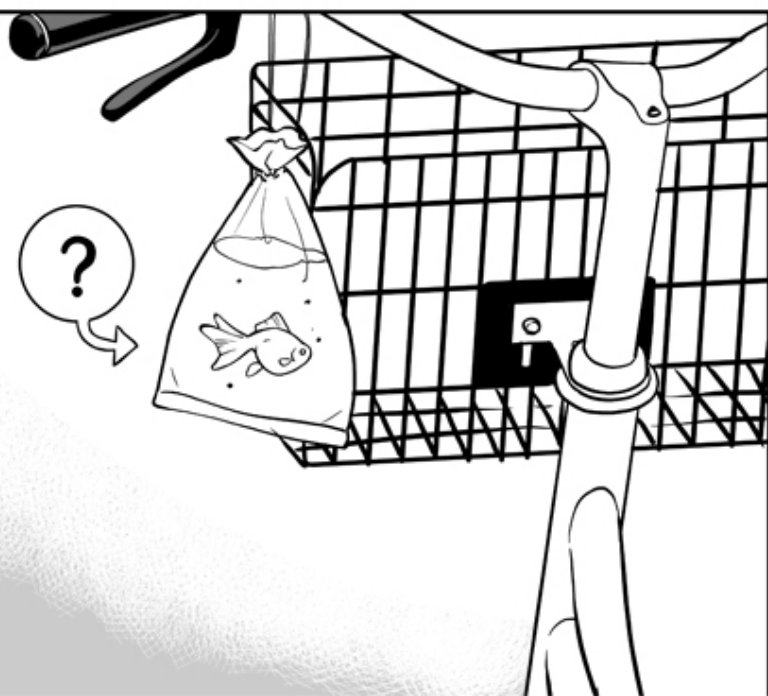


金魚と暮らす

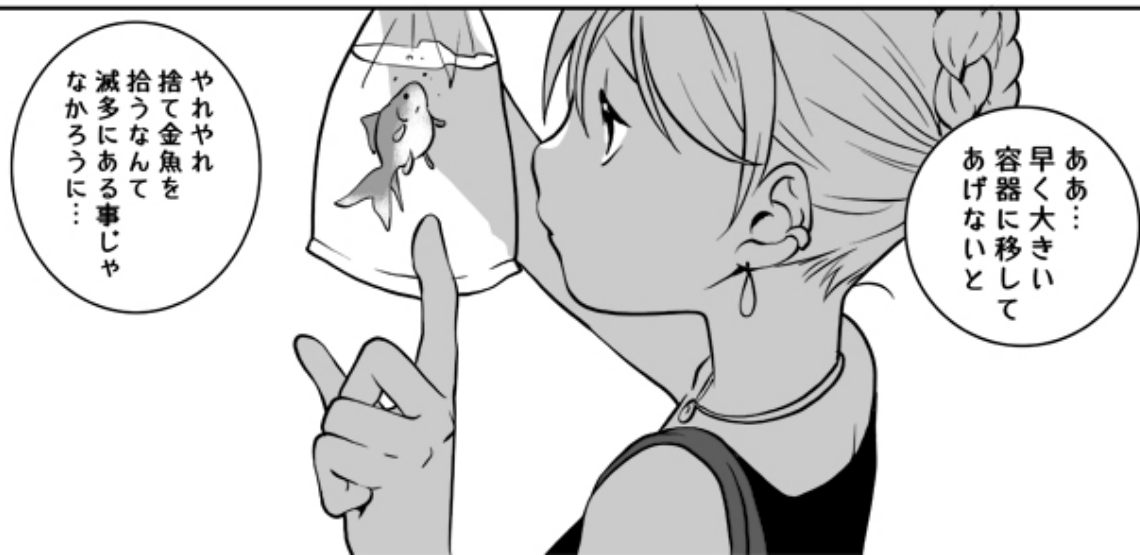






あれは…
忘れもしない
二千年八月十六日
のことだった





金魚掬いなどで
手に入れた金魚を
こんなふうには
放棄することは
絶対にダメだよ

けしからん
本当にこれは
ダメだ！

実はひとつだけ
感謝している
ことがある

でも
よかった…

川に放流されなくて
本当によかったよ

いや…
いや…
なごころさま…

私が金魚を保護した
場所の近くには
大きな川があった

もしそんな所に
放流されたら

水温や水質に
適応できずに
死んでしまう
可能性が高い

しかし生き延びたら
金魚はその場所で
繁殖してしまう
可能性もあり
元々そこにいた
生き物と
餌の奪い合いに
なってしまうたり

それによって
絶滅してしまう
生き物もある

これが連鎖的に
広がって
周りの環境に被害が
出てしまうこともある

もっといろんなリスクが
あるんだけどね
まあざっくりと…

環境破壊の危機は
免れたが：

こんな炎天下に
放置されたのは
やっぱり可哀想で

この子は
絶対に
幸せにする！

…と
真夏の太陽に誓った

…とはいえ

子どもの頃に金魚掬いの子を
飼ったこともあったけど
ほとんどのお世話
周りの大人が
してくれていたので

一から自分でお世話を
する為にお勉強が必要だった

インターネットで調べる
なんてことがまだ
できない頃だったので
本屋と図書館で金魚の本を
片っ端から読みまくり

04

できる限り設備も揃え
毎日じっくり観察し
水をきれいに保ち

冬になったら
ヒーターも
入れてあげるわ

大事に大事に育てた

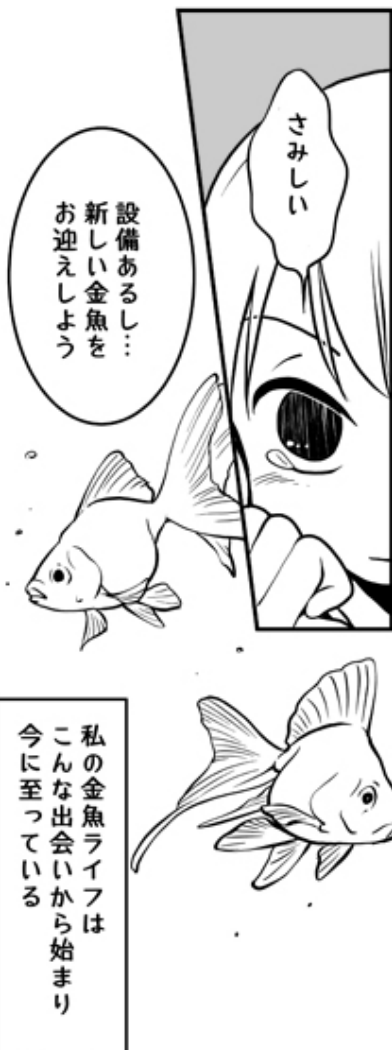
おはようおやすみ
いってきます
ただいま
を毎日言う相手だった

一年半ほどで
星の世界に
旅立ってしまった

さよならの時
色々考えた

金魚の幸せって
なんだろう？
この子は
幸せな金魚
だっただろうか？

私にもっと
飼育の技術や
知識があったら
もっともっと
長生きして
くれたらどうか？





金魚とのつきあいをおさらいしてみた



遠方のお店に
電車に乗って行くのも
考えちゃったり…

コロナの影響で
お店が人を
入れたがって
いなかったり

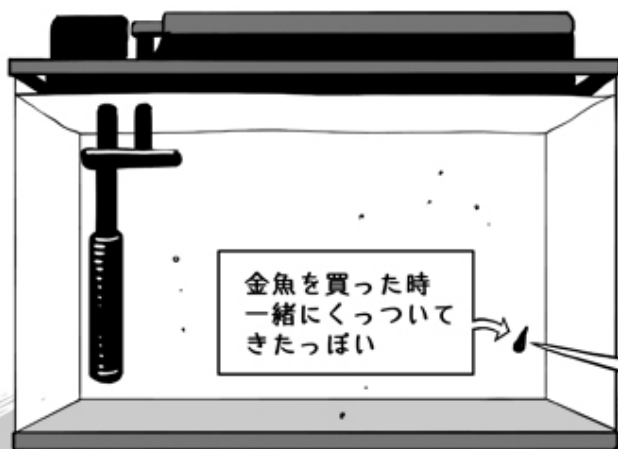
新しい金魚を
お迎えしようかなと
思いつつも腰が重かった



金魚を飼いはじめた
あの時から
この水槽の中で
たくさんの金魚を
育ててきたが

二〇二二年三月に
五年ほど過ごした
金魚が旅立ってしまった時

この小さな
カワニナさんのために
32ℓの水槽を稼働
し続けていたが



金魚を買った時
一緒にくっついて
きたっぽい

金魚がいなくなっても
我が家の水槽には
小さなカワニナが
住んでいる



カワニナも
可愛いんだけど
やっぱり
寂しいよな